



問題

『水なしで錠剤が飲めるって なんてだろう？』

—^{こうこうないほうかいじょう}口腔内崩壊錠 って、ナニ？—』



解説

「ラムネ」を知っていますか？口の中で溶けるお菓子です。このラムネ菓子をヒントに、口の中に入るとすぐに錠剤の形が壊れる（崩壊する）ように作られた薬が口腔内崩壊錠です。「水なしで飲める薬」などキャッチーなフレーズで宣伝されていますが、「水なしで飲める」と聞くと薬を口の中に入れて効果があるような気がしませんか？口の中で壊れた口腔内崩壊錠は唾液で飲み込まれ、胃や腸に到達して血液中に取り込まれて初めて効果をあらわします。口腔内崩壊錠であっても唾液や水で飲みこむことが大切です。つまり、「**水なしで飲める錠剤**」ではなく、「**唾液で飲める錠剤**」の方が的確です。薬の効果があらわれるように患者さんに正しく服用してもらうことも、私達薬剤師の仕事です。

☆口腔内崩壊錠のメリットは？

子どもの頃、錠剤が飲みにくかった記憶はありませんか？子供だけでなく、高齢になると嚥下障害※を起こして錠剤が飲み込みにくくなることがあります。錠剤が飲めない方には散剤（粉薬）を用いた調剤をしますが、口腔内崩壊錠なら口の中で壊れて散剤と同じ状態になって飲み込みやすくなります。そのため口腔内崩壊錠は高齢者にやさしい薬と言われています。指先がうまく使えない高齢者にとって、口腔内崩壊錠は散剤より取り扱いやすいというメリットがあります。

☆口腔内崩壊錠はどうしてすぐに崩壊するのでしょうか？

口腔内崩壊錠の作り方は、大きく分けて2種類あります。1つは濡れた材料（粉体）を使って錠剤の形にし（打錠）、その後乾燥させます。錠剤内の水分が乾燥して錠剤内部に多くの細孔（隙間）がつくられ、そこに唾液がしみこんで錠剤が壊れやすくなります。もう1つの方法は、通常の錠剤と同じ作り方をしますが、錠剤に含まれる崩壊剤という成分を工夫することにより、錠剤に唾液が少ししみるだけで崩壊するようにしています。

※ 嚥下障害や運動障害のある患者さんへの服薬方法については、昭和大学のホームページ「やさしい投薬をめざして」(<http://www10.showa-u.ac.jp/~biopharm/>)をご覧ください。



回答者：薬物療法学講座薬剤学部門 倉田なおみ